

リビングキット 取扱説明書

別売製品の接続および取り付けについては、別売製品に付属の説明書も合わせてご覧ください。

リビングキットとは

リビングキットとは、ナビゲーション本体のブレインユニット(ハードディスク内蔵)を取り出し、ご自宅のテレビやAV機器に接続することでナビゲーション機能やミュージックサーバー機能の一部をご利用いただくためのキットです。リビングキット(以下、本機)は専用のリモコンで操作します。

インターネット接続について

本機をインターネットに接続すると、ご家庭でも通信機能をご利用頂けます。通信機能については、『ナビゲーションブック』をご覧ください。

- インターネットに接続するには、弊社指定のLANアダプタ(USB型またはCF型)でインターネットに接続可能なネットワークに接続するか、市販のCF型データ通信カードが必要です。
- 弊社指定以外の機器や、CF型無線LANカード、USB型の無線LANアダプタ、USB型のDSLモデムなどはご使用になれません。またISDN回線による接続は、動作保証いたしません。
- USB型LANアダプタおよびCF型LANアダプタを同時に接続した場合は、動作保証いたしません。
- 本機をネットワークに接続する場合は、IPアドレスが1つ必要になります。本機はDHCPによるIPアドレスの自動割り当てのみに対応しております。固定IPアドレスで使用することはできません。
- 一般的に、パソコンと同時に本機をインターネットに接続するには、ルータ機能を使うかプロバイダーから複数のIPアドレスを取得する必要があります。詳しくはご契約されているプロバイダーにお問い合わせください。
- インターネットに接続するには、最初に「通信設定」が必要な場合があります。『ナビゲーションブック』-「通信設定」

日時データについて

ブレインユニットは、取り出したまま24時間以上放置するとブレインユニットに記憶されている日時データが失われることがあります。日時データがない場合は一部の機能がご利用いただけません。その場合は、次の方法で日時データの取得を行ってください。

インターネットに接続可能な場合

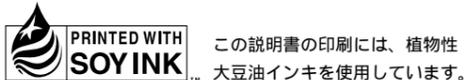
通信による日時データの取得 『ナビゲーションブック』-「日時の設定を行う」

インターネットに接続できない場合

ブレインユニットを車のナビゲーションに装着して一度ナビゲーションの電源を入れてください。

本機にブレインユニットを装着しておけば、本機の電源がOFFの状態でも日時データは保持されます。但し、本機にACアダプタを接続して常に電源を供給しておく必要があります。

CF型カードは「コンパクトフラッシュ」型カードの略です。
「コンパクトフラッシュ」はサンディスクコーポレーションの登録商標です。
その他、製品名等の固有名詞は各社の商標又は登録商標です。



この説明書の印刷には、植物性大豆油インキを使用しています。

パイオニア株式会社

〒153-8654 東京都目黒区目黒 1-4-1

この説明書は、再生紙を使用しています。

©パイオニア株式会社 2004

<KAMZF> <04E00000> <CRA3642-A>

安全のために必ずお守りください

絵表示について

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただくため、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容を良く理解してから本文をお読みください。

表示内容を無視して、誤った使いかたをしたときにおよぼす危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。

 **警告** この表示の欄は、「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」を示しています。

 **注意** この表示の欄は、「人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容」を示しています。

お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

 **注意** このような絵表示は、注意(警告を含む)しなければならない内容です。

 **禁止** このような絵表示は、禁止(やってはいけないこと)の内容です。

 **必ず行う** このような絵表示は、必ず行っていただく強制の内容です。

安全上のご注意

警告

[使用方法]

通気孔などから本機内部に異物を入れない

 **禁止** 本機の通気孔などから、内部に水や異物を入れないでください。また、金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。発煙・発火・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

分解や改造をしない

 **禁止** 本機を分解したり、改造しないでください。事故・発火・感電の原因となります。

分解禁止

電池は幼児の手の届かないところに保管する

 **注意** 事故防止のため、電池は幼児の手の届かない所に保管してください。万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医師の治療を受けてください。

注意

引火に注意

 **禁止** 引火性ガス(プロパンガス、ガソリンなど)の発生するような場所では、使用しないでください。引火・爆発の原因となります。

雷に注意

 **禁止** 雷が発生しているときは、本機、電源プラグに触れないでください。落雷により感電の危険があります。

禁止

交流100ボルト 50 / 60 Hz 専用

 **禁止** 表示された電源電圧(交流100ボルト 50/60 Hz)以外の電圧で使用しないでください。指定以外の電源に接続すると、発熱・火災・けが・感電・故障の原因となります。

100V以外禁止

ACアダプタは付属のものを使用する

 **必ず行う** ACアダプタは、必ず製品に付属するものを使用してください。市販されているものには、異なる電圧のものなどがあり、故障や火災の原因となることがあります。

必ず行う

本機を使用できるのは日本国内のみです

 **禁止** 本機は、日本国内でしか使用できません。船舶などの直流(DC)電源には接続しないでください。火災の原因となります。

禁止

警告

[使用方法]

水がかかる場所やほこりの多い場所では使用しない

 **禁止** 雨が吹き込む所や、風呂場、シャワー室や調理台、加湿器のそばなど、湿気・ほこり・油煙の多い場所に置かないでください。本機に水や湿気・ほこり・油煙などが入り込むと、感電や火災、故障の原因となることがあります。

付属の電源コードは本機専用です

 **禁止** 付属の電源コードはこの機器のみで使用することを目的とした専用品です。他の電気製品ではご使用になれません。他の電気製品で使用した場合、発熱により火災・感電の原因となることがあります。また電源コードは本製品に付属のもの以外は使用しないで下さい。他の電源コードを使用した場合、この機器の本来の性能が出ないことや、電流容量不足による発熱により火災・感電の原因となることがあります。

電源コードの取り扱い

 **禁止** コードを傷つけたり、無理に曲げたり、ねじったり、加工したり、重いものをのせたり、加熱したり、引っ張ったりしないでください。コードが破損し、火災・感電の原因となります。コードが傷んだら(芯線の露出、断線など)販売店に交換をご依頼ください。

濡れた手でさわらない

 **ぬれ手禁止** 濡れた手で(電源)プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。

電源プラグはきれいにしておく

 **プラグをぬく** 電源プラグの端子、および付近にほこりや金属物が付着している場合は、電源プラグを抜いてから、乾いた布で取り除いてください。そのまま使用すると火災、感電の原因になります。

[異常時の処置]

異常のまま使用しない

 **禁止** 万一、内部に異物が入った・水がかかった・煙が出る・変なにおいがするなど異常が起きた場合は、ただちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店にご相談ください。そのままご使用になると事故・火災・感電の原因となります。

故障のまま使用しない

 **禁止** 画面が映らない、音が出ないなどの故障の状態で使用しないでください。そのままご使用になると事故・火災・感電の原因となります。故障したときは、必ずお買い上げの販売店にご相談ください。

乾電池の液もれに注意する

 **注意** 内溶液が皮膚や衣服に付着したときは、きれいな水で洗い流し、また眼に入ったときは、きれいな水で洗った後、ただちに医師の治療を受けてください。

注意

⚠ 注意

[接続・取り付け・設置]

	直射日光が直接当たる場所では使用しない 直射日光の当たる場所および高温・高湿の場所では使用しないでください。本機の内部温度が上昇し、火災や故障、ケースの変形、内部電池の破裂や液もれの原因となることがあります。
	不安定な場所では使用しない 不安定な場所や、しっかりと固定できない場所での使用は避けてください。落下による発煙や発火、故障の原因となることがあります。
	通風孔や放熱板をふさがない 本機の通風孔や放熱板をふさがないでください。通風孔や放熱板をふさぐと内部に熱がこもり、故障や火災の原因となることがあります。
	正しく接続する 取扱説明書で指定されたとおりに正しく接続を行ってください。正規の接続を行わないと、火災や事故の原因となることがあります。

[使用方法]

	磁気カードなどを近づけない キャッシュカードやフロッピーディスクなどを本機に近づけないでください。磁気データが消去されることがあります。
	指定場所以外では使用しない 本機を家庭用として以外では使用しないでください。感電やケガの原因となります。
	温度の上昇に注意する 本機は、環境や使用状況によって温度が上昇する場合があります。ケガや事故の原因となることがありますのでご注意ください。
	指定の電池を使用する 指定以外の電池は使用しないでください。電池の破裂・液もれによりケガや周囲を汚染する原因となります。

⚠ 注意

[使用方法]

	電池は充電しない 乾電池は充電しないでください。電池の破裂により、ケガの原因となることがあります。
	電池の極性 (⊕、⊖) に注意する 電池を機器内に入れるときは、極性 (⊕、⊖) に注意し、表示どおりに入れてください。電池の極性を間違えると電池の破裂、液もれにより、ケガや周囲を汚染する原因となることがあります。また、使い切った電池はすぐに交換してください。液もれにより、周囲を汚染する原因となることがあります。
	電池は分解したり加熱したりしない 電池をショートさせたり、分解したり、加熱したりしないでください。また、火や水の中に入れてしないでください。電池の破裂、液もれにより、火災やケガの原因となることがあります。
	移動させる場合やお手入れをするときはプラグを抜く 移動させる場合やお手入れをするときは電源スイッチを切り、必ずプラグをコンセントから抜き、外部のコードを外してから行ってください。コードが傷つき火災になったり感電することがあります。
	長時間使用しないときはプラグを抜く 安全のため、長時間使用しないときはプラグをコンセントから抜いてください。また、ブレインユニットは日時データ保持のためナビゲーション本体に装着しておいてください。
	プラグの差し込みに注意 プラグはコンセントに根元まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全だと発熱したり、ほこりが付着して火災・ケガの原因となることがあります。また、プラグの刃に触れると感電することがあります。
	ゆるみのあるコンセントに接続しない プラグを根元まで差し込んでもゆるみがあるコンセントには接続しないでください。発熱して火災の原因となることがあります。家電販売店や電気工事にコンセントの交換を依頼してください。
	電源コードを熱器具に近づけない コードを熱器具に近づけないでください。コードの被ふくが溶けて、火災、感電の原因となることがあります。

● ご使用上の注意

本機は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会 (VCCI) の基準に基づくクラスB情報技術装置です。本機は、家庭環境で使用することを目的としていますが、本機がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

【HDD取り扱い上のご注意】

・HDD (ハードディスク) は非常に精密な機器です。設置方法や使用状況、動作中の不用意な取り扱いによって、HDDに悪影響を及ぼし、記録内容が損なわれたり、動作上の不具合や故障を引き起こすことが十分考えられます。製品の設置・移動・配線、お手入れ等の際には、本機の電源を必ずOFFにして、電源コードをコンセントから抜いて行って下さい。

【設置や使用する時のご注意】

- ・振動や衝撃を与えないでください。特に動作中にご注意ください。
- ・振動する場所や不安定な場所、水平以外の場所に置かないでください。
- ・本機の冷却ファンや通風孔をふさがないでください。
- ・温度や湿度の高い場所、急激な温度変化をする場所で使用しないでください。
- ・電源が入った状態で電源コードをコンセントから抜いたり、設置場所のプレーカーを落としたりしないでください。
- ・電源が入った状態や電源を切った直後に本機を移動しないでください。移動は、本機の電源を切り、本機の電源ランプおよびブレインユニットのHDDランプが消えた後に電源コードをコンセントから抜いてから行ってください。

【こんなときは電源を切っておく】

- ・テレビ放送やラジオ放送の電波状態により、本機の電源を入れたままテレビやラジオをつけると、画面にしま模様が出たり、雑音が出たりする場合があります。このような場合は本機の電源を切ってください。

何らかの不具合やHDDの故障による録音内容の損失、それに付随した直接・間接的な損害につきましては当社では一切の責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。

本機に外部機器を接続して作業する場合は、静電気が発生しやすい環境で行わないでください。乾燥した季節やカーペットの上などでは静電気を帯びやすくなっていますので、手近にある金属製のものに軽く指を触れて、静電気を逃がしてからご使用ください。

雷が鳴っているときは、使用しないでください。故障、誤動作、記憶内容の消失の原因となります。

急激な温度変化を与えないでください。結露が生じ、故障、誤動作、記憶内容の消失の原因となります。結露が生じたときは、自然乾燥させてからご使用ください。

オプション (別売品) や、市販品のケーブルなどをご使用になる場合は、その取扱説明書を必ずお読みになり、正しくお使いください。他社製の周辺機器につきましては、弊社で動作を保証するものではありません。

本機に取り付けているCF型カードに強い衝撃を与えないでください。カードや本機の破損、故障の原因となります。

本機にCF型カードを取り付けたまま持ち運びしないでください。カードに物が当たり衝撃が加わるとカードや本機の破損、故障、またはカードが本機から外れて紛失するおそれがあります。

CF型カードへ書き込み中、読み出し中は、電源を切ったり、カードを取り出したりしないでください。カードや本機、または記憶データが破損されるおそれがあります。

別売のLANアダプタに下記のネットワークや回線を接続すると、コネクタに必要な以上の電流が流れ、故障や発熱、火災の原因となります。特にホームテレホンやビジネスホンの回線には、絶対に接続しないでください。

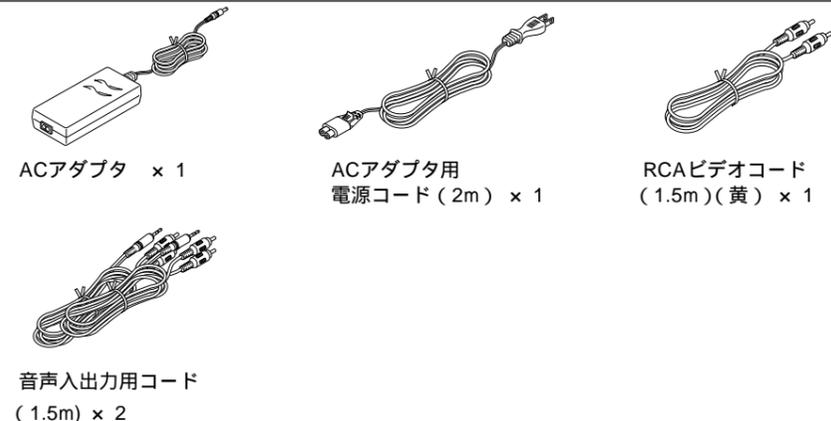
- ・10BASE-Tと100BASE-TXタイプ以外のネットワーク
- ・一般電話回線
- ・ISDN (デジタル) 対応公衆電話のデジタル側のジャック
- ・PBX (デジタル式構内交換機) 回線
- ・ホームテレホンやビジネスホンの回線
- ・上記以外の電話回線など

接続・取り付け部品を確認する

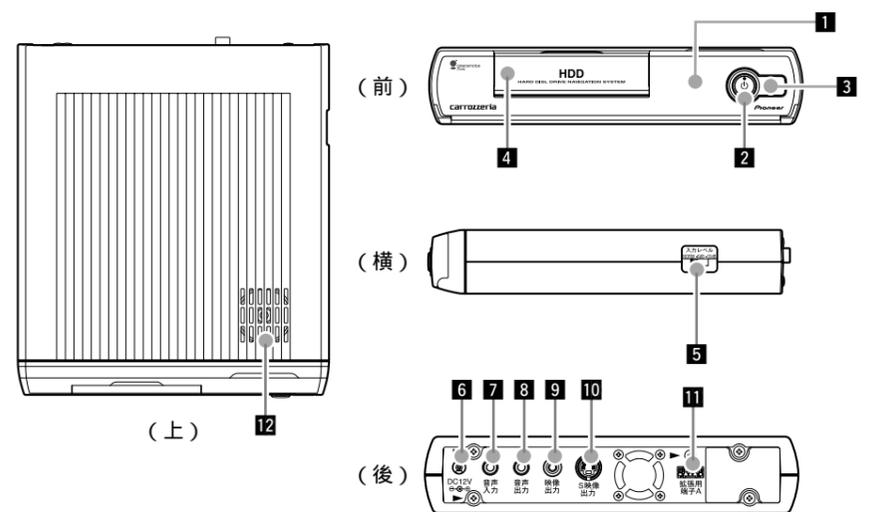
本体関係



コード関係



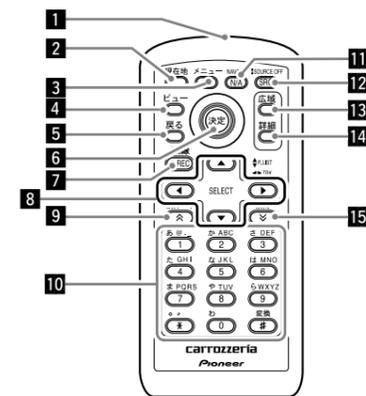
接続端子のなまえと働き



- 1** フロントパネル
ブレイユニットを出し入れするときに開きます。
- 2** 電源スイッチ/電源ランプ
電源をON、OFFします。電源をONにすると電源ランプが点灯します。
- 3** リモコン受光部
リモコンをこの部分に向けて操作します。
- 4** CF型カード用ドア
収納しきれないカードの場合は、ドアを開いて使用します。
- 5** 入力レベル切り替えスイッチ
入力レベルを切り替えます。本機でアナログ録音した音声の再生時に、歪が感じられたときは、入力レベルを下げて再度録音してください。
- 6** 電源入力
付属のACアダプタを接続します。
- 7** 音声入力
アナログ録音する音声を入力します。
- 8** 音声出力
ミュージックサーバーの音声が出力されます。
- 9** 映像出力(黄)
本機の映像が出力されます。(コンポジット映像出力)
- 10** S映像出力
本機の映像が出力されます。(S映像出力)
- 11** 拡張用端子A
HDD[サイバーナビ]ブロードバンド関連指定機器のUSB LANアダプタ(市販品)を接続します。
- 12** スピーカー
操作音およびガイド音声が出力されます。

HDD[サイバーナビ]ブロードバンド関連指定機器については、別紙「HDD[サイバーナビ]ブロードバンド関連指定機器のご案内」または、<http://www.hdd-cybernavi.com>をご覧ください。

リモコンのなまえと働き



- 1** リモコン送信部
ここからリモコンの信号が送られます。
- 2** 現在地ボタン
ナビゲーションを現在地(最終測位地)表示に切り替えます。
- 3** メニューボタン
ナビゲーション操作時は、メニューを表示します。オーディオ操作時は、AVメニューを表示します。
- 4** ビューボタン
ナビゲーション操作時は、地図表示のビュー切り替えメニューを表示します。長く押しすと地図設定メニューを表示します。サイドマップ付きのリスト画面表示時は、地図と詳細情報の表示を切り替えます。オーディオ操作時は、ソースプレートやリストの表示/非表示を切り替えます。
- 5** 戻るボタン
ひとつ前の画面に戻る時に使用します。
- 6** ジョイスティック/決定ボタン
項目の決定などに使用します。
- 7** 録音/削除ボタン
接続した外部機器の音声を録音したり、入力した文字を削除する時に使用します。
- 8** ▲/▼/◀/▶ ボタン
ミュージックサーバーのプレイリストや曲の操作を行うときに使用します。
- 9** 別ルート へ ボタン
リストのページ送りを行います。
- 10** 10キー
ナビゲーションの電話番号検索、文字入力などに利用します。
- 11** NAVI/AVボタン
ナビゲーション画面とソース画面を切り替えます。
- 12** SOURCEボタン
ソースを切り替えるときに使用します。長く押しすとソースをOFFにします。
- 13/14** 広域/詳細ボタン
ナビゲーション操作時は、地図のスケールを替えるときに使用します。
- 15** 渋滞 ㄩ ボタン
リストのページ送りや、渋滞予測マップを表示します。

各ボタンの機能について、ミュージックサーバーは『オーディオブック』、ナビゲーションは『ナビゲーションブック』をご覧ください。

リモコンの準備と使いかた

リモコンに電池を入れる

電池ホルダーを取り出し、リチウム電池(CR2025)を図のようにしてセットします。はじめてお使いになるときは、電池ホルダー部から出ているフィルムを引き抜いてください。電池があらかじめセットされていますので、すぐにお使いいただくことができます。



ご注意

リモコンを長時間使わないときは、電池を取り出してください。また、取り出した電池は、幼児の手の届かないところに保管してください。

電池の液もれが起こったときは、内部に付着した液をよく拭き取ってから新しい電池と入れ換えてください。

不要となった電池を廃棄する場合は、各地方自治体の指示(条例)に従って処理してください。

付属の電池は充電できません。

リモコンからの信号が受け付けられる範囲が狭くなってきたときは、新しい電池と交換してください。

リモコンを直射日光の当たるところに長時間放置すると、高温により変形・変色したり、故障することがあります。リモコンを使用しないときは、直射日光の当たらないところに保管してください。

リモコン受光部に直接日光が当たっているとリモコンの操作ができないことがあります。このような場合は、日光をさえぎってからリモコン操作をしてください。

ジョイスティック/決定ボタンの使いかた

ジョイスティック/決定ボタンは、ひとつでジョイスティックと決定ボタンの2つの働きをします。

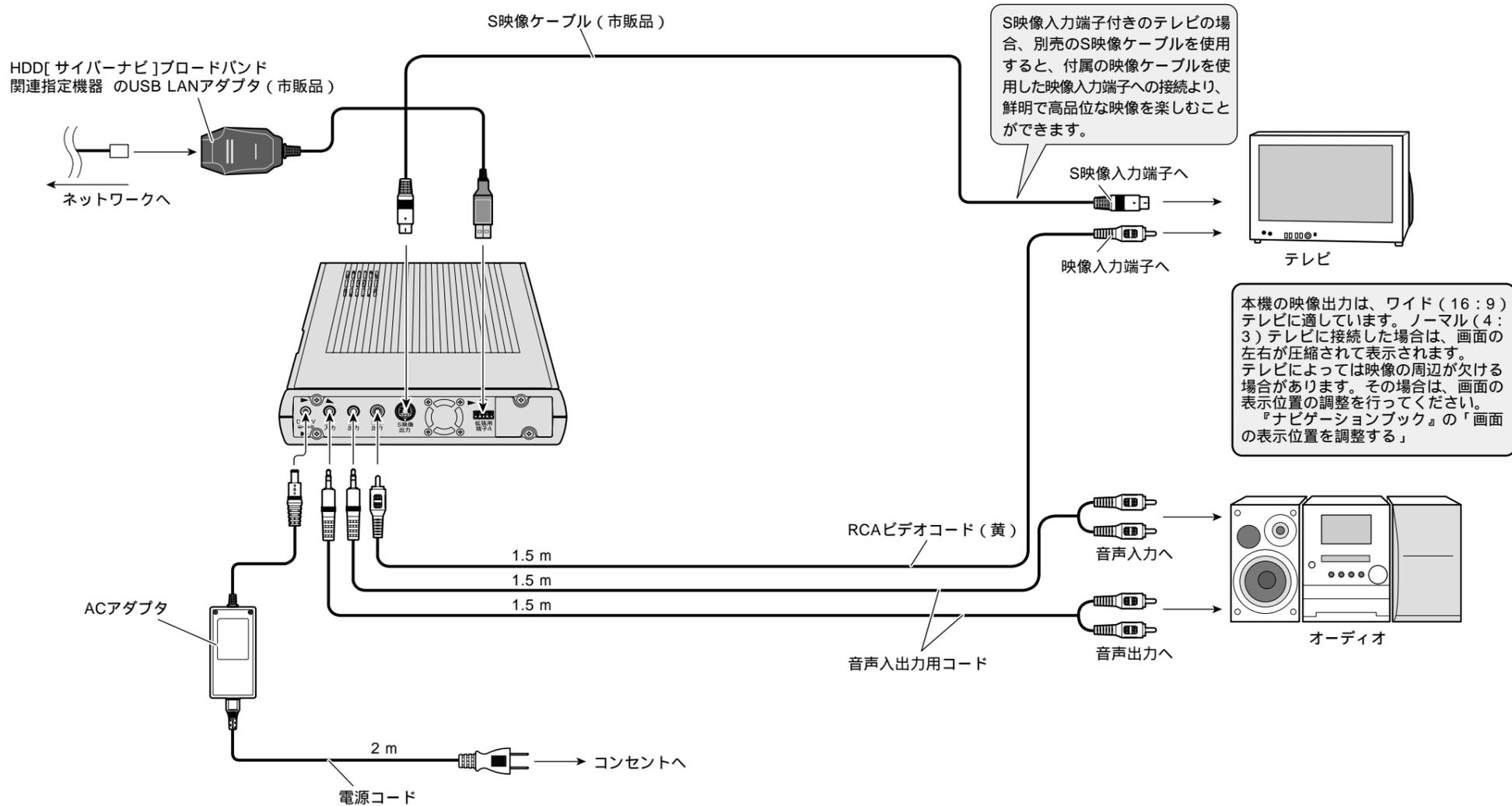
ジョイスティックとして使うとき
ジョイスティックを上下・左右・斜めに傾けます。車載用リモコンのユニバーサルパッドの上下左右に触れる操作は、本リモコンでは上下左右に倒す操作に相当します。

決定ボタンとして使うとき
決定ボタンを上からカチッと1回押します。この操作を、「[決定]を押す」といいます。



システム接続図

— 詳しくはお買い上げの販売店にお問い合わせください —



HDD[サイバーナビ]ブロードバンド関連指定機器については、別紙「HDD[サイバーナビ]ブロードバンド関連指定機器のご案内」または、<http://www.hdd-cybernavi.com>をご覧ください。

各機器の接続方法については、それぞれの機器の取扱説明書をご覧ください。

電源の接続

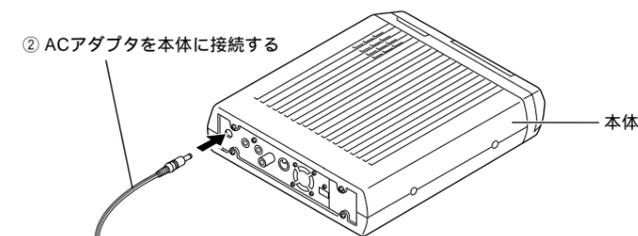
ご注意

故障を防ぐため、ACアダプタ用電源コードをコンセントから抜く場合は、必ず本機の電源をOFFにしてから行ってください。
日時データ保持のため、本機にブレインユニットを差し込んでいるときはプラグをコンセントに差ししておいてください。(本機の電源スイッチがOFFでも保持されます)

付属の電源コードとACアダプタを使って、本体を電源に接続します。

1 本体を電源に接続する

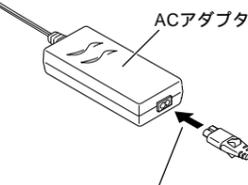
② ACアダプタを本体に接続する



③ プラグをコンセントに差す

プラグを家庭用AC100Vコンセントにしっかり差し込みます。

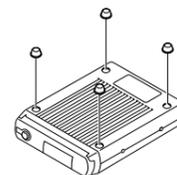
① ACアダプタとACアダプタ用電源コードを接続する



設置のしかた

本機を横置きで使用する場合

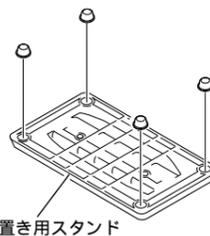
本機を横置きにして使用する場合は、付属のゴム足の平らな面のシールをはがし本機に貼り付けてください。



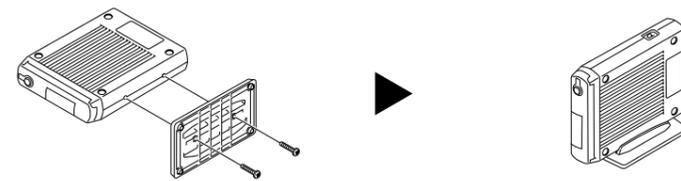
本機を縦置きで使用する場合

本機を縦置きにして使用する場合は、付属の縦置き用スタンドを使います。

1 縦置き用スタンドを裏返し、付属のゴム足の平らな面のシールをはがし貼り付けます。



2 縦置き用スタンドに取付ネジを通し、本機の横面にある穴に取り付けます。



ブレイユニットの入れかた・取り出しかた

ご注意

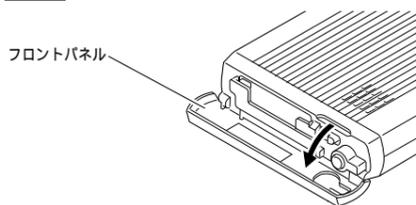
ブレイユニットにCF型カードなどを入れたまま持ち運ばないでください。カードに物が当たったり、衝撃が加わり、カードや本体が破損する恐れがあります。

ブレイユニットを持ち運ぶときは、必ず専用のキャリングケースに入れてください。落下や衝撃によりブレイユニットが破損する恐れがあります。

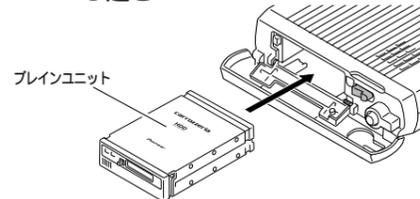
ブレイユニットに急激な温度変化を与えると、結露が生じ、異常の原因となります。自然に結露の状態がなくなるまで使用しないでください。

ブレイユニットの入れかた

1 フロントパネルを手前に開く



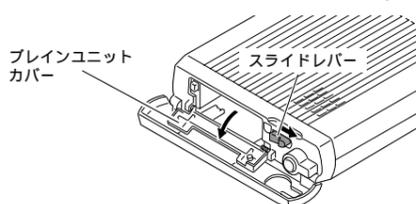
4 ブレイユニットを奥まで差し込む



ロゴ面を上にして、イラストの向きに差し込んでください。ブレイユニットがカチッとロックされるまでしっかりと差し込んでください。

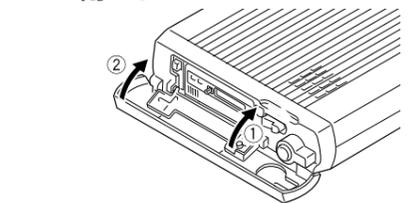
2 スライドレバーを右にスライドし、ブレイユニットカバーを開く

ブレイユニット挿入口があらわれます。



3 キャリングケースからブレイユニットを取り出す

5 ブレイユニットカバーを閉じてから、フロントパネルを閉じる



注：ブレイユニットカバーは必ず閉じてください。閉じ忘れると、本機の電源が入りません。

ご注意

ブレイユニットを取り出すときは、先にCF型カードを取り出してください。

ブレイユニットの取り出しかた

1 本機の電源ボタンを押して、電源を切る

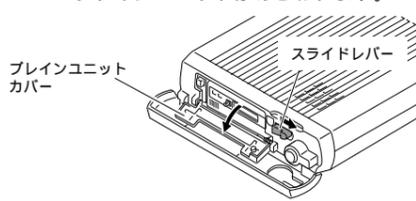
本機の電源ランプが消灯します。

注：CF型カードへの保存・読み込み中に電源を切らないでください。

2 フロントパネルを手前に開く

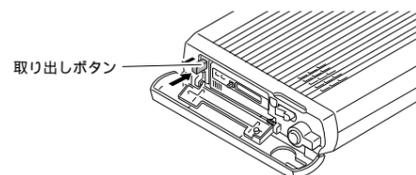
3 スライドレバーを右にスライドし、ブレイユニットカバーを開く

ブレイユニットがあらわれます。



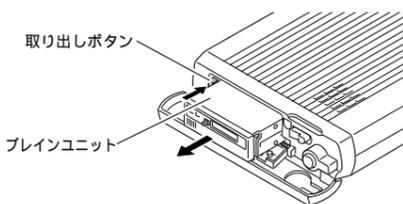
4 ブレイユニットのPOWERランプの消灯を確認してから、ブレイユニット取り出しボタンを押す

ブレイユニット取り出しボタンが手前に出きます。

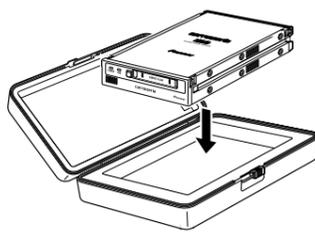


5 もう一度、ブレイユニット取り出しボタンを押す

ブレイユニットが出てきます。



6 キャリングケースにブレイユニットを入れる



7 ブレイユニットカバーを閉じる

カチッと音がしてスライドレバーが止まるのを確認します。

8 フロントパネルを閉じる

CF型カードの入れかた・取り出しかた

ご注意

カードは精密機械です。製品の取扱説明書をよく読んでから使用してください。

カードに強い衝撃や力を加えないでください。破損や故障する恐れがあります。

正しい手順以外の方法でカードを取り出した場合、データが消えたり壊れたりする恐れがあります。

データの読み込み中、または書き込み中にカードを抜かないでください。データ転送中にカードが抜かれた場合、転送中のデータの内容は保証されません。

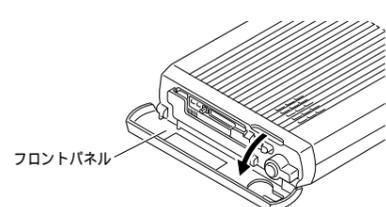
CF型カード挿入口に装着可能な記録媒体には、保証できる温度が低いものが存在します。長時間の使用ではカードを破損する恐れがありますのでご注意ください。

長時間CF型カードを装着して使用すると、カードが非常に熱くなる可能性がありますのでご注意ください。

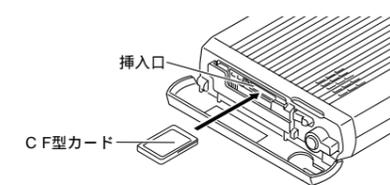
専用のドライバソフトウェアが必要なCF型カードは使用できません。

CF型カードの入れかた

1 フロントパネルを手前に開く



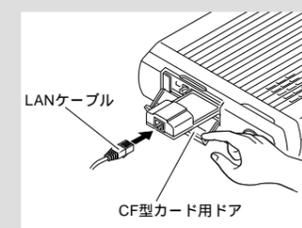
2 ブレイユニットのCF型カード挿入口にカードを差し込む



おもて面を上にして、カードに記載されている矢印の向きに差し込んでください。カードを奥までしっかりと差し込んでください。

収納しきれないカードの場合は

カードにLANケーブルなどを取り付ける場合は、本機のフロントパネルにあるCF型カード用ドアを開いて取り付けてください。



CF型カードの取り出しかた

1 「メニュー」 - 編集・設定 - カード電源OFF と操作する

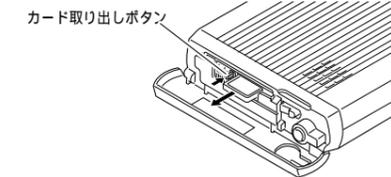
「カード電源をOFFしました。」と表示されます。

10キーの「3」を押しても同じ動作をします。

本機の電源がOFFになっているときは、この操作をする必要はありません。

4 もう一度、カード取り出しボタンを押す

カードが出てきます。



2 フロントパネルを手前に開く

5 フロントパネルを閉じる

3 カード取り出しボタンを押す

カード取り出しボタンが手前に出てきます。

